

平成31年第1回保土ヶ谷区区づくり推進横浜市議員会議

平成31年2月4日（月）10：30～

保土ヶ谷区役所2階 202会議室

次 第

開 会

議題1 平成31年度保土ヶ谷区編成予算案について

議題2 平成30年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行状況等について

2-1 民生委員・児童委員協力員制度の試行について

2-2 保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）地区別計画の  
推進・支援の状況について

2-3 都市計画マスタープラン（保土ヶ谷区プラン）の改定について

2-4 空家相談と対応状況について

2-5 ほどがや地区センター改修工事について

2-6 消防署の機構改革について

閉 会

議題 1

平成 31 年度

保土ヶ谷区編成予算案概要

## 《目次》

1	平成31年度保土ヶ谷区編成予算案について	2
2	個性ある区づくり推進費自主企画事業について	4
(1)	自主企画事業施策体系	4
(2)	主な事業の概要	
	災害対策推進事業	5
	保土ヶ谷区地域防犯力向上事業	5
	ほどがや元気づくり事業	6
	横浜国立大学留学生の地域交流推進事業	6
	星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業	7
(3)	自主企画事業一覧	8
(4)	統合事業費一覧	15
3	当区からの提案に基づく企画事業	
(1)	《参考1》区局連携促進事業	16
(2)	《参考2》元気な地域づくり推進事業	17

# 1 平成 31 年度保土ケ谷区編成予算案について

～「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」に向けて～

地域の課題や特性などを踏まえ、31年度は、個性ある区づくり推進費 680,893 千円、区局連携促進事業・元気な地域づくり推進事業 8,830 千円の予算を編成しました。

31年度は、区民の皆様の想いや地域のつながりを大切にしながら、全40事業を推進していきます。また、事業の推進にあたっては、地域との協働や各課との連携を促進し、区役所をあげて全職員が一丸となり「チーム保土ケ谷」で取り組みます。

## (1) 個性ある区づくり推進費区分別総括表

(単位：千円)

区 分	31 年度予算案	30 年度予算額	増△減
自主企画事業費	105,212	105,318	△106
統合事務事業費 ※1	42,391	24,757	17,634
区庁舎・区民利用施設管理費	533,290	528,220	5,070
合 計	680,893	658,295	22,598

※1 「統合事務費」と「統合事業費」の合計。自主企画事業費のうち一部の事業については、31年度予算から「統合事業費」として計上。

## (2) 内訳

### ア 自主企画事業費（全 40 事業）

(単位：千円)

区分		31 年度予算案	30 年度予算額	増△減
4 つ の 重 点 施 策	暮らしの安全・安心の確保	30,344	24,222	6,122
	誰もが健やかに暮らせる 環境づくり	20,761	23,390	△2,629
	つながり・支えあいの推進	21,107	18,556	2,551
	魅力あるまちづくり	19,923	22,004	△2,081
信頼される区役所づくり ～「チーム保土ケ谷」の強化～		13,077	17,146	△4,069
合 計		105,212	105,318	△106

## イ 統合事務事業費

(単位：千円)

区分	31年度予算案	30年度予算額	増△減
統合事務費	24,908	24,757	151
統合事業費（7事業）※2	17,483	0	17,483
合計	42,391	24,757	17,634

※2 自主企画事業費のうち一部の事業については、31年度予算から「統合事業費」として計上。

## ウ 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

区分	31年度予算案	30年度予算額	増△減
区庁舎	97,717	98,062	△345
ほ도가や市民活動センター	25,817	25,028	789
土木事務所	8,901	8,684	217
公会堂	56,061	55,751	310
地区センター等	335,873	331,037	4,836
広場・遊び場	2,388	2,158	230
区庁舎・区民利用施設修繕費	6,533	7,500	△967
合計	533,290	528,220	5,070

## (3) 当区からの提案に基づく企画事業費

(単位：千円)

区分	31年度予算案	30年度予算額	増△減	
区局連携促進事業 ※3	3,290	5,880	△2,590	
内 訳	星川駅周辺のバス交通アクセス向上 検討事業（道路局）	3,000	0	3,000
	緊急時情報システム運用試行事業（総 務局）	290	290	0
	（保土ヶ谷区バリアフリー基本構想 策定事業）	0	5,590	△5,590
元気な地域づくり推進事業 ※4	5,540	6,156	△616	
内 訳	“輝け、地域力！”事業	1,836	2,173	△337
	地域・まちづくり活動支援事業	1,432	1,592	△160
	保土ヶ谷ほとなまちづくり地区別 計画推進事業	1,072	1,191	△119
	保土ヶ谷区地域づくり大学校（「ほど がや <sup>がっこう</sup> 楽考」）事業	1,200	1,200	0
合計	8,830	12,036	△3,206	

※3 個性ある区づくり推進費の財源を活用し、区と局が連携して行う事業。事業所管理局に予算計上。

※4 地域の特性に応じて区が事業提案し、市民局予算を用いて実施する事業。

## 2 個性ある区づくり推進費自主企画事業について

自主企画事業については、昨年度に引き続き、「4つの重点施策」と「信頼される区役所づくり」の5分野にまとめました。

31年度は、新規2事業を含めた全40事業に取り組みます。

### (1) 自主企画事業施策体系（全40事業、計：105,212千円）

#### <4つの重点施策>

#### ◆ 暮らしの安全・安心の確保（全6事業） 30,344千円

災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動を推進します。また、皆様が安全に安心して暮らせるよう、交通安全対策、防犯、食の安全、様々な困難を抱える家庭の社会的自立に向けた支援などに取り組みます。

《主な事業》災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】、

保土ヶ谷区地域防犯力向上事業、生活保護受給者に対する家計相談支援事業

#### ◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり（全10事業） 20,761千円

誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、働き・子育て世代の生活習慣病予防、介護予防による健康寿命の延伸、障害のある方への支援などに、切れ目なく取り組みます。

《主な事業》ほどがやhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～、ほどがや元気づくり事業

#### ◆ つながり・支えあいの推進（全10事業） 21,107千円

自治会町内会をはじめ幅広い分野の関係団体の皆様との協働を推進するとともに、地域活動や団体間の連携強化を支援します。また、民生委員・児童委員を支援する協力員を配置し、ひとり暮らし高齢者等への地域での見守り活動を推進するとともに、地域に関心を持つきっかけづくりや担い手の発掘・育成に取り組みます。

《主な事業》横浜国立大学留学生の地域交流推進事業、保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業

#### ◆ 魅力あるまちづくり（全9事業） 19,923千円

自然や歴史など地域資源を生かした取組や、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅間）連続立体交差事業による高架化を契機としたまちづくりを推進するとともに、区の魅力を高めて発信し地域への愛着を育みます。

《主な事業》歴史浪漫ほどがや事業、星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業

#### <信頼される区役所づくり～「チーム保土ヶ谷」の強化～>（全5事業） 13,077千円

職員一人ひとりが業務知識・応対スキルの向上に取り組み、区民の皆様のご要望や意見にしっかりと耳を傾けながら、迅速・丁寧・的確な窓口サービスを提供します。また、庁舎環境改善により、安心して快適に利用できる区役所づくりを推進します。

《主な事業》「利用しやすい区役所」推進事業

※太字で記載しました5つの事業については、5～7ページに事業概要を掲載しています。

(2) 主な事業の概要

※事業内容のうち、下線は新規

施策分野・事業名	31年度原案	30年度予算	増▲減
◆ 暮らしの安全・安心の確保 <b>災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】</b> (総務課)	12,390千円 (12,680千円)	12,228千円 (12,518千円)	162千円 (162千円)

※上段が自主企画事業費、下段が緊急時情報システム運用試行事業費を含む総事業費

1 地域の現状・課題

- ◇大地震や集中豪雨など、災害時の緊急情報を区民に迅速かつ確実に伝達することが必要
- ◇発生が危惧される大地震からの火災被害を軽減するため、感震ブレーカーのさらなる普及が必要
- ◇「20万区民の自助・共助による減災運動」にもとづく取組が各家庭や地域において推進されるよう、効果的な広報が必要

2 事業内容

- ◇保土ヶ谷区緊急時情報システムの試行運用(電話通知)
- ◇感震ブレーカー設置推進事業  
総務局の補助制度の一層の利用促進を図るとともに、区独自の補助制度を継続実施、一体的な広報の実施によりさらなる設置を促進  
《平成30年度 区内実績》  
総務局補助:6自治会471世帯、区補助:29自治会956世帯
- ◇20万区民の自助・共助による減災運動の推進
  - ・風水害、震災対策キャンペーンの実施
  - ・小学校4年生向けリーフレットの継続配布
  - ・「保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業」と連携したアンケート調査を実施し、保土ヶ谷区民の意識や取組実態を把握



震災対策キャンペーン

3 効果

- ◇避難勧告発令時等における情報伝達体制の充実による、危機管理体制の強化
- ◇感震ブレーカーの普及により通電火災の発生を抑止し、震災時の火災に強いまちづくりを推進
- ◇アンケート調査の結果等を活用した効果的な広報による、家庭や地域における防災力の向上

施策分野・事業名	31年度原案	30年度予算	増▲減
◆ 暮らしの安全・安心の確保 <b>保土ヶ谷区地域防犯力向上事業</b> (地域振興課)	5,546千円	5,493千円	53千円

1 地域の現状・課題

- ◇犯罪の発生件数は減少しているが、高齢者を狙った振り込め詐欺の被害額が増加しているため、啓発活動等により地域防犯力を高める必要がある
- ◇地域・警察・区などが一体となり、犯罪を未然に防止し安全・安心なまちづくりを図ることが必要

2 事業内容

- ◇振り込め詐欺防止啓発  
のぼり旗を新たに作成し自治会町内会に配布、ポスターの配布、商店街での啓発キャンペーンの実施、川柳コンクールの開催
- ◇防犯ステッカーによる啓発  
区内を走行する集配車両・バイク等を所有する企業・団体と連携し、車両・バイクへの防犯ステッカーを貼付
- ◇地域防犯活動の支援  
地域におけるパトロール等の防犯活動を支援するため各種防犯物品を配布
- ◇「安全・安心教室」の開催  
警察官や区職員が地域に出向き、防犯に関する講習会を開催



振り込め詐欺撲滅キャンペーン

3 効果

- ◇警察等と協力して、様々な啓発活動を行うことにより、振り込め詐欺をはじめとする犯罪に対する地域防犯力の向上

施策分野・事業名	31年度原案	30年度予算	増▲減
◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり <b>ほどがや元気づくり事業</b> (福祉保健課)	4,168千円	2,068千円	2,100千円

### 1 地域の現状・課題

- ◇区内の60歳代の方は、生活習慣病(糖尿病)のリスクが全市平均に比べて高いため、それ以前の年代から、生活習慣の改善に向けた意識を高めていくことが重要
- ◇多世代への影響が大きい働き・子育て世代(30～50歳代)は、本人が体調変化を感じない間は、自身の健康に意識や関心が向きにくい方が約6割(H25健康に関する市民意識調査)
- ◇地域での活動を通じて、年代ごとに気にかけるべき健康課題(例:更年期)にも応えていくことが必要

### 2 事業内容

- ◇試してみたいくなる参加型の健康コンテンツの導入
  - ・ホームページ(HP)の充実:①気軽に実践できる短編動画、②答えが知りたくなるクイズ形式の健康PR、③すき間時間に試せる手軽な健康ノウハウの発信
  - ・小冊子でのPR:HP情報と連動し、気軽に取り組み、実践効果が実感できる健康方法を発信
- ◇体験型の健康講座によるムーブメントの醸成
  - ・保護者向け:①保護者が集まる子育て支援拠点などの場で簡単な健康チェックを通じた情報提供、②「8020運動は若いうちから」を考える「歯っぴい!おやつクッキング」の開催、③小中学校のPTAを通じて、更年期に備える体づくりのPR
  - ・企業従業員向け:就業人口の多い中小企業に対し、タバコによる身体への影響をチェックするなどの健康講座を、企業との協働で職場内で開催し、健康づくりの機運を醸成



横浜国大常盤祭での健康ブースの様子

### 3 効果

- ◇働き・子育て世代(約10万人)のうち、健康に無関心な方(約6割)、具体的な行動に移せていない方(約2割)が、健康づくりに興味や関心を持ち、健康づくりを実践するよう区内の機運の高揚

施策分野・事業名	31年度原案	30年度予算	増▲減
◆ つながり・支えあいの推進 <b>《新》横浜国立大学留学生の地域交流推進事業</b> (区政推進課)	571千円	-	571千円

### 1 地域の現状・課題

- ◇区内唯一の大学である横浜国立大学には、全学生の約10%にあたる1,045人の留学生が在籍している(平成30年11月時点)が、区民と留学生が互いの文化を尊重し理解する機会が少ない
- ◇区内在住外国人人口が5,000人を超えており、在住外国人と地域社会が共に暮らしやすいまちづくりをさらに進めるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした留学生等在住外国人の地域・社会での活躍促進が必要

### 2 事業内容

- ◇地域の方々と横浜国立大学留学生との交流機会の創出
  - ・地域の伝統行事やイベント等に留学生が参加しやすくするため、大学を通じた案内や受入地域との調整、申込受付等を実施
  - ・留学生が区の魅力を知り、また、日本文化の理解を深めてもらうため、地域の行事やイベント等に関する解説を実施
  - ・区民まつり等でブース出展を行い、留学生が自国の文化や魅力を発信し、区民と交流する機会を提供



地域の餅つき大会に参加する留学生(30年12月プシ実施)

### 3 効果

- ◇地域の方々と留学生との交流機会の増加による、互いの文化に対する理解の促進及び地域の活性化
- ◇地域での体験が、留学生の就職支援や外国人材としての留学生の誘致・定着につながる
- ◇留学生の地域・社会での活躍促進及び留学生に対する、日本や横浜、保土ヶ谷の魅力の発信



施策分野・事業名	31年度原案	30年度予算	増▲減
◆ 魅力あるまちづくり 《新》星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業 (区政推進課)	5,000千円	-	5,000千円

### 1 地域の現状・課題

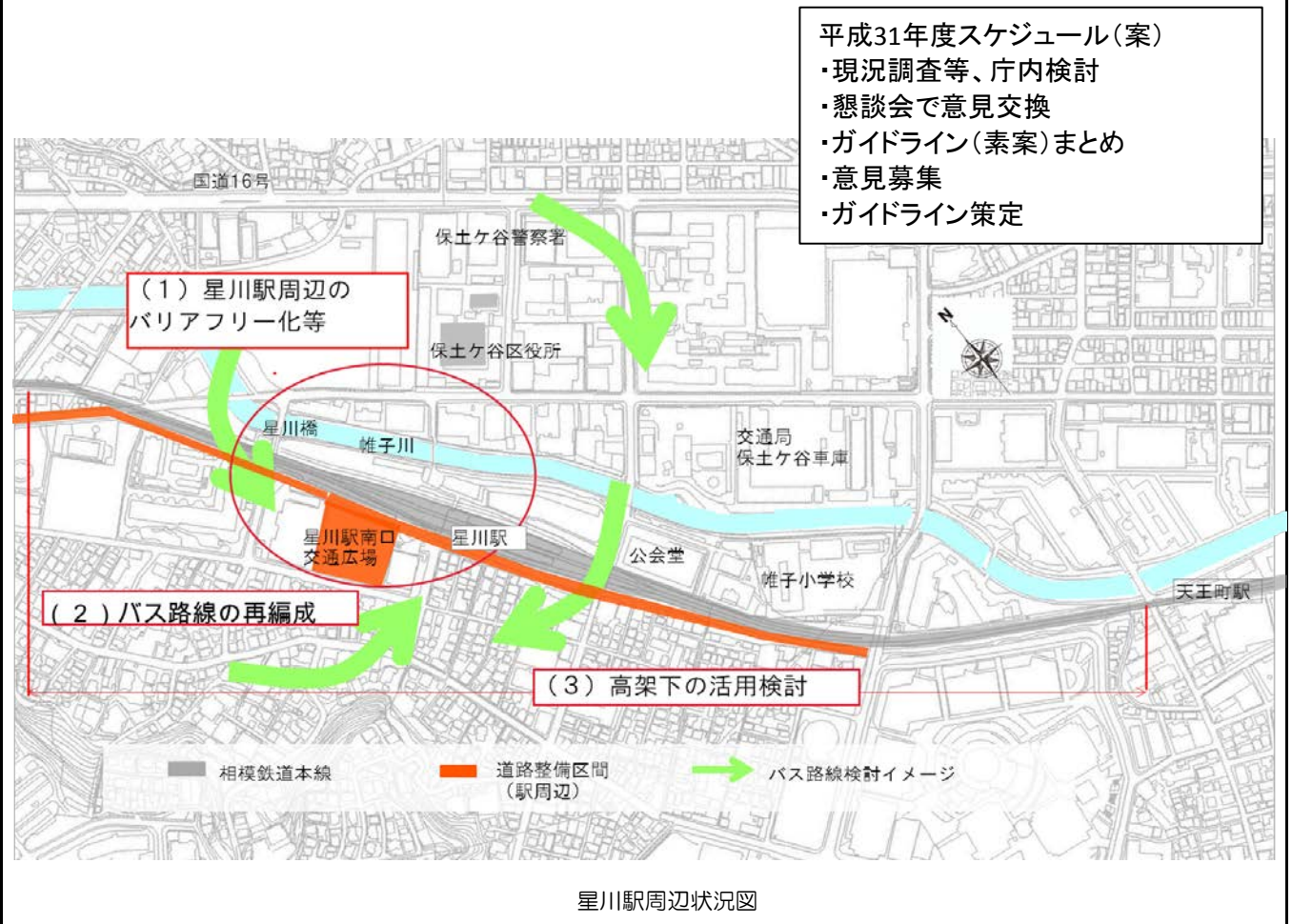
- ◇星川駅周辺では、相模鉄道本線(星川駅～天王町駅)連続立体交差事業による踏切の解消、駅前広場、駅施設の整備、高架下の活用検討やバリアフリー基本構想の検討など様々な事業等が行われており、開発の機運が高まりつつある。
- ◇星川駅周辺の公共施設の整備・検討状況と整合を図りながら、開発等を行う際の星川駅周辺地区のまちづくりガイドラインを定め、地区の魅力向上を図ることが必要

### 2 事業概要

- ◇開発等の際に配慮すべきガイドラインを策定し、地区におけるまちづくりの基本的な考え方を整理
  - ・星川駅周辺の都市計画や土地利用状況についての現況調査
  - ・星川駅周辺で行われている各事業の進捗状況の把握
  - ・上記を踏まえ、土地利用や交通環境、歩行者空間など、分野別に方針を整理
- ◇地域や学識経験者等から構成される区主催の懇談会の開催
- ◇ガイドライン(案)に対する市民意見募集
  - なお、バス路線の再編成は、ガイドラインの交通環境の方針をふまえ、区局連携促進事業にてアンケート調査等を実施

### 3 効果

- ◇行政サービス機能が集積している星川駅およびその周辺において、バリアフリーに配慮したまちづくりを推進
- ◇高架下を活用し商業業務機能や生活支援機能(医療、福祉、子育て等)などを誘導し、総合的に区心部の拠点性をさらに強化



(3) 自主企画事業一覧 (㊦105,212千円・40事業 ㊧105,318千円)

◆ **暮らしの安全・安心の確保** 【30,344千円】

災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動を推進します。また、皆様が安全に安心して暮らせるよう、交通安全対策、防犯、食の安全、様々な困難を抱える家庭の社会的自立に向けた支援などに取り組みます。

1 **エコ活動推進事業** 【㊦2,671千円・㊧1,030千円】

横浜市地球温暖化対策実行計画に掲げた「温室効果ガス排出量を2020年までに22%、2030年までに30%、2050年までに80%以上削減(2013年度比)」の目標を達成するため、区民一人ひとりが地球温暖化防止行動に取り組むための支援を行います。

2 **災害対策推進事業(20万区民の自助・共助による減災運動)**

【㊦12,390千円・㊧12,228千円】

安全・安心に暮らすことができる保土ヶ谷区の実現のため、「20万区民の自助・共助による減災運動」を推進し、地域防災力の向上を図ります。また、災害時の迅速な緊急情報の提供や区本部体制を充実し、危機管理体制の向上を図ります。

3 **保土ヶ谷区地域防犯力向上事業** 【㊦5,546千円・㊧5,493千円】

警察、地域、関係団体と連携して地域の防犯力を向上することで、街頭犯罪を防止し、安心・安全・快適なまちづくりを推進します。

4 **交通安全対策事業** 【㊦7,524千円・㊧3,033千円】

交通安全運動や交通安全教育を実施して交通事故の防止を推進します。駅周辺の自転車等放置防止のため、「自転車等放置防止監視員」を配置して利用者に啓発します。

また、児童が通行する横断歩道前の退避スペースがない場所について、安全確保できるように退避スペースを整備します。

5 **暮らしの衛生サポート事業** 【㊦1,066千円・㊧1,170千円】

食の安全や動物の適正飼育など、生活衛生に関する正しい知識の普及に努め、区民の安全で快適な生活を応援します。

6 **生活保護受給者に対する家計相談支援事業** 【㊦1,147千円・㊧1,167千円】

生活保護受給者を対象として家計相談支援事業を実施し、扶助費を保護世帯が適切に管理できるよう支援することにより、保護世帯の社会的自立を目指し、また、保護脱却世帯が再び保護世帯に戻らないことを目指します。

## ◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり 【20,761千円】

誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、働き・子育て世代の生活習慣病予防、介護予防による健康寿命の延伸、障害のある方への支援などに、切れ目なく取り組みます。

### 7 スポーツの街ほどがや推進事業【③①2,951千円・③②4,268千円】

※統合事業費「5 スポーツ推進委員事業」に一部移行

誰もが身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを推進するとともに、区内唯一のプロスポーツチームである横浜FCとの連携を通じて、区民が一流のプレーを観戦する機会などを創出し、スポーツを通じた区民の暮らしの充実やまちの活性化を図ります。

### 8 みんなで育む がやっこ事業【③①1,085千円・③②1,023千円】

“がやっこ（元気な保土ヶ谷の子どもたち）”の健全育成を図るため、地域の資産である横浜国立大学と連携し、体験型講座や学生派遣による学習支援等を行います。

### 9 青少年健全育成事業【③①306千円・③②4,379千円】

※統合事業費「6 青少年指導員事業」に一部移行

未来を担う青少年が健やかに成長できる地域環境の実現を図ること、また青少年健全育成の推進を目的として、健全育成の普及活動等に要する経費を補助します。

### 10 がやっこキッズ学び育み事業【③①2,329千円・③②1,448千円】

学校以外での学習機会に恵まれない子どもたちが基礎学力や学習習慣を身に付けられるよう、放課後キッズクラブの特別プログラムとして、参加を希望する児童に対する学習アドバイザー等による学習支援を行います。

### 11 ほ도가や happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～

【③①5,304千円・③②4,935千円】

地域で孤立しない育児ができるように、人とつながる子育てを支援していくため、「安心して子育てできるまち保土ヶ谷」として、妊娠期から学齢期前まで、トータルで子育てをサポートする事業を実施します。なお、実施に当たっては、各地区の特徴を生かし、地域の多世代の方々や子育て関係機関と連携しながら進めます。

### 12 こどもを守ろう！地域子育てつながり事業【③①2,103千円・③②2,342千円】

こども虐待防止について広く区民に関心を持ってもらうとともに、子育て支援に関わる関係機関や地域との連携を強化し、地域の見守りの力を高めます。また、孤立しやすい若年やひとり親の養育者について、貧困対策や女性の自立のための支援を行い、安定した生活につなげます。

<p><b>13 保土ヶ谷 8020 歯っぴい事業【③① 1, 183 千円・③② 980 千円】</b></p> <p>口腔の健康状態は全身に大きく影響することを踏まえ、歯の生え始めからのむし歯予防と 20～30 歳代の保護者の歯周病予防を重点に、「8020 運動は若いうちから」を意識し実技指導等を取り入れた啓発を行います。</p>
<p><b>14 ほどがや元気づくり事業【③① 4, 168 千円・③② 2, 068 千円】</b></p> <p>30～50 歳代を中心とした「働き・子育て世代」の区民を中心に、健康に関する情報提供や、きっかけ作りをすることで自分自身で健康維持・増進をする機運を高めます。</p>
<p><b>15 輝けシニア！2025 事業【③① 643 千円・③② 1, 158 千円】</b></p> <p>高齢者が可能な限り地域で自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じて健康づくり・介護予防及び社会参加等を支援するとともに、本人・家族及び地域の支え合いや介護、医療、関係機関の連携を進めます。</p>
<p><b>16 学齢障害児フレンドサポート事業【③① 689 千円・③② 789 千円】</b></p> <p>障害児と家族が身近な地域で安心した生活が送れるよう、学齢障害児に外出の機会を設け、地域での余暇活動を支援します。</p>
<p><b>◆ つながり・支えあいの推進 【21, 107 千円】</b></p> <p>自治会町内会をはじめ幅広い分野の関係団体の皆様との協働を推進するとともに、地域活動や団体間の連携強化を支援します。また、民生委員・児童委員を支援する協力員を配置し、ひとり暮らし高齢者等への地域での見守り活動を推進するとともに、地域に関心を持つきっかけづくりや担い手の発掘・育成に取り組めます。</p>
<p><b>17 広聴の区民協働事業【③① 599 千円・③② 8, 116 千円】</b></p> <p>※30 年度は「広聴の区民協働・相談事業」・「広報推進事業」の 2 事業に分けて計上        ※統合事業費「1 広報よこはま発行事業」・「2 広聴の相談事業」に一部移行</p> <p>「地域のつどい」「区民のつどい」の開催等の区民会議活動を行うほか、区民会議活動を広く区民にお知らせするニュース「やまびこ」を発行します。様々な広報手段を総合的に運用することにより、重層的・多角的な広報活動を展開します。</p> <p>多様な手段・手法による広報を推進し、より多くの区民に区の魅力や事業等を周知し区政への関心・理解を深めます。</p>
<p><b>18 《新規》横浜国立大学留学生の地域交流推進事業【③① 571 千円】</b></p> <p>地域と留学生との交流を通じて、地域活動の担い手の確保や地域の活性化を図ります。また、地域での活動やイベントへの参加などを通じ、留学生が日本の文化に触れる機会を増やすことで、日本や横浜、保土ヶ谷の魅力を再発見してもらうとともに、留学生が地域に対して、自国の文化を発信する機会を増やすことにより、地域との交流を促進します。</p>

**19 ほどがや区民まつり【(31)4, 800千円・(30)4, 500千円】**

区民や区内各種団体の交流促進及びコミュニティの再生のため、区民が主体となって企画・運営を行い、区民が参加する「区民まつり」を開催します。

**20 自治会町内会支援事業【(31)3, 391千円・(30)2, 871千円】**

自治会町内会が市政・区政推進の基盤となることを目的として、地域活動の根幹となる自治会町内会活動を支えます。

**21 ほどがや☆元気村【(31)611千円・(30)640千円】**

保土ケ谷区に残る唯一の水田という貴重な地域資源を活用し、児童・生徒をはじめ多くの区民の多世代交流の場を作ります。また、実行委員（ボランティア）による自主企画事業の企画・運営等の活動を通して、地域の新たな担い手として活躍していただくきっかけを作ります。

**22 市民活動支援事業【(31)4, 616千円・(30)3, 313千円】**

市民活動・生涯学習活動の拠点として、地域で活動する区民や団体間の連携・協働の支援への意識を持って、地域に密着したきめ細やかな支援を行います。

**23 はぐくみプロジェクト【(31)2, 139千円・(30)1, 960千円】**

区民が地域に関心を持つきっかけをつくり、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる主体性のある人材の発掘・育成を行います。また、区民利用施設が連携して地域活動を活性化させる体制づくりを目指して、施設職員・区職員のスキルアップと情報共有を図る研修を実施します。

**24 障害者地域支えあい連携推進事業【(31)1, 017千円・(30)817千円】**

障害者支援関係機関の中心となる保土ケ谷区地域自立支援協議会の円滑な運営及び活動を支援します。また、当該協議会の部会活動として実施している、通所事業所等による自主製品販売の販路確保及び拡大を支援し、障害者の社会参加の機会拡大を図ります。

**25 保土ケ谷ほとなまちづくり推進事業【(31)2, 089千円・(30)1, 303千円】**

第3期保土ケ谷ほとなまちづくり（地域福祉保健計画）（計画期間：平成28年から平成32年まで）を推進します。また、アンケート調査・分析を行い、第4期計画の策定に資する情報を整理します。それぞれの地域が、様々に抱える課題に対し主体的に取り組を進められるよう、また、各地区において第4期計画の策定に向けた検討が進むよう、地区支援チームが支援します。

**26 地域見守り推進事業【③① 1, 274千円・③② 1, 277千円】**

ひとり暮らし高齢者等が地域でつながりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員だけでなく、地域にお住いのあんしん訪問員（ボランティア）が民生委員・児童委員を通じて、区役所や地域包括支援センター等と連携しながら継続的に見守ります。また、あんしん訪問員とともに地域の見守り等を行っている、民生委員・児童委員の活動を補佐する協力員を配置し、物理的・精神的負担軽減を図るとともに、その活動を地域住民に正しく理解していただくための広報・啓発を行います。

**◆ 魅力あるまちづくり 【19, 923千円】**

自然や歴史など地域資源を生かした取組や、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅間）連続立体交差事業による高架化を契機としたまちづくりを推進するとともに、区の魅力を高めて発信し地域への愛着を育みます。

**27 歴史浪漫ほどがや事業【③① 2, 719千円・③② 2, 035千円】**

旧東海道の宿場町に代表される保土ヶ谷区ならではの歴史的魅力を生かしたまちづくりを、区民や他の関係区局と協働で進めます。

**28 《新規》星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業【③① 5, 000千円】**

相模鉄道本線（星川駅～天王町駅間）連続立体交差事業による高架化を契機に、駅周辺の開発の機運が高まっています。地区の魅力を高め区心部の拠点性をさらに強化するため、星川駅周辺地区のまちづくりガイドラインを検討・策定します。

**29 保土ヶ谷商工業支援事業【③① 668千円・③② 708千円】**

地域コミュニティの担い手である商店街の活性化を図るため、区商店街連合会に加盟する商店が一堂に会して商店街をPRする場を提供、また様々な広報媒体を活用しながら、商店街の活性化を支援します。さらに、商店街だけでなく製造業を含む企業の支援も行います。

**30 地産地消推進事業【③① 450千円・③② 320千円】**

農家・地域活動団体・区役所が協力し、区民が「農」を身近に感じられる取組を通じて、区内の農業振興を図るとともに、地産地消の取組を進めます。

**31 国際文化理解事業【③① 1, 300千円・③② 1, 100千円】**

国際文化の理解を深めるため文化紹介事業を実施し、ブルガリアをはじめとする多文化共生の実現を目指します。

	<p><b>32 花薫るきれいな街ほどがや事業【(31)4,492千円・(30)5,012千円】</b></p> <p>※統合事業費「3 クリーンタウンほどがや事業」に一部移行</p> <p>次世代につなげる魅力あるほどがやのまちづくりをめざし、「ヨコハマ3R夢プラン」事業の推進と街の美化事業に取り組みます。</p>
	<p><b>33 読書活動推進事業【(31)650千円・(30)200千円】</b></p> <p>区役所・図書館・学校・区民利用施設等が連携し、読書活動の啓発やボランティア養成講座などを実施することで、保土ヶ谷区民の読書活動を推進します。</p>
	<p><b>34 保土ヶ谷区芸術の街【(31)3,047千円・(30)2,847千円】</b></p> <p>保土ヶ谷区内の文化活動による地域振興を目指して、区民文化祭、区民ギャラリー、区民密着型コンサート及び区の歌普及の各事業を実施します。</p>
	<p><b>35 保土ヶ谷区ガイドマップ作成事業【(31)1,597千円・(30)1,722千円】</b></p> <p>保土ヶ谷区に転入する区民へ生活に必要な情報を提供します。※原則隔年で作成</p>
<p><b>&lt;信頼される区役所づくり～「チーム保土ヶ谷」の強化～&gt;【13,077千円】</b></p> <p>職員一人ひとりが業務知識・応対スキルの向上に取り組み、区民の要望や意見にしっかりと耳を傾けながら、迅速・丁寧・的確な窓口サービスを提供します。また、庁舎環境改善により、安心して快適に利用できる区役所づくりを推進します。</p>	
	<p><b>36 区総合調整事業【(31)2,000千円・(30)2,000千円】</b></p> <p>保土ヶ谷区の基本目標である「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に向け、予算編成時に想定していなかった緊急的・突発的な課題に対して、機動的かつ柔軟に対応します。</p>
	<p><b>37 「利用しやすい区役所」推進事業【(31)9,603千円・(30)13,128千円】</b></p> <p>区民が安心して快適に利用できるよう区庁舎・区民利用施設の環境を整備・改善し、区民サービスを向上します。</p>
	<p><b>38 窓口サービス向上事業【(31)724千円・(30)724千円】</b></p> <p>職員の応対マナーや人権感覚の向上を図るとともに、業務改善に取り組むことで、職員一人ひとりが区民への傾聴の姿勢を持ち、丁寧かつ迅速な対応を基本としたサービスの提供を行うことのできる、区民から信頼される区役所づくりに取り組みます。</p>
	<p><b>39 統計便覧作成事業【(31)277千円・(30)279千円】</b></p> <p>保土ヶ谷区に関する各種統計調査情報を便覧の形式で発行し、区民に提供します。</p>

**40 保土ヶ谷区GIS活用推進事業【(31)473千円・(30)1,015千円】**

各種統計情報や業務データ等を地理空間情報として整備し、GIS（地理情報システム）で扱うことで、客観的な情報分析や分かりやすい資料作成を可能にし、政策立案力や庁内情報共有環境の向上を目指します。GISの活用推進にあたり、課職員のスキル向上を行います。

**(参考) 31年度未計上の事業**

**41 消費生活対策事業【(30)101千円】**

統合事業費に全面移行

**42 学校・家庭・地域連携事業【(30)720千円】**

統合事業費に全面移行

**43 おやじの会活動支援事業【(30)99千円】**

事業終了

**44 都市計画マスタープラン・地域別構想の改定業務【(30)1,000千円】**

事業終了



(4) 統合事業費一覧 (③17,483千円・7事業)

1 広報よこはま発行事業【③17,794千円】

※自主企画事業費「17 広聴の区民協働事業」から一部移行

区政情報を幅広く区民に伝えるため、広報よこはま区版を発行します。発行にあたっては、区民の視点に立って、見やすく読みやすいデザイン・レイアウトで紙面づくりを行います。また、横浜国立大学の学生が作成したコラム記事を掲載する等、若年層の読者を増やす取組を行います。

2 広聴の相談事業【③1710千円】

※自主企画事業費「17 広聴の区民協働事業」から一部移行

区民の多様な相談事項に応じて、法律相談等の機会を提供します。

3 クリーントウンほどがや事業【③1668千円】

※自主企画事業費「32 花薫るきれいな街ほどがや事業」から一部移行

次世代につなげる魅力あるほどがやのまちづくりをめざし、「ヨコハマ3R夢プラン」事業の推進と街の美化事業に取り組みます。

4 消費生活対策事業【③1101千円】

※自主企画事業費「41 消費生活対策事業」から全面移行

地域社会の安全で快適な消費生活を実現するため、悪質商法対策や消費生活向上に向け普及啓発を図ります。

5 スポーツ推進委員事業【③13,540千円】

※自主企画事業費「7 スポーツの街ほどがや推進事業」から一部移行

誰もが身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを推進し、スポーツを通じた区民の暮らしの充実やまちの活性化を図ります。

6 青少年指導員事業【③13,710千円】

※自主企画事業費「9 青少年健全育成事業」から一部移行

青少年の健全育成を行うため、区または地域において青少年を対象にした事業を実施します。また、青少年の健全育成活動を推進する人材の育成及び研修事業を実施します。

7 学校・家庭・地域連携事業【③1960千円】

※自主企画事業費「42 学校・家庭・地域連携事業」から全面移行

青少年の非行防止や健全育成を推進するため、学校・家庭・地域が連携し地域の特性を生かしながら自主的に実施する事業を支援します。

### 3 当区からの提案に基づく企画事業

#### (1) 《参考1》区局連携促進事業

関連局と連携して様々な事業を戦略的に行うための所要額を事業所管局予算として計上しています。

(単位：千円)

細目事業名	予算額	概要
星川駅周辺のバス交通アクセス向上検討事業 (相模鉄道本線(星川～天王町駅間)全線高架化を契機としたまちづくりの推進(4,000)の一部)	3,000	連続立体交差事業による星川駅周辺の道路整備を契機に、バス交通に関する地域意見を広く聴取するとともに、バス事業者と調整し候補路線を選定した上で、周辺交通の現況把握やアンケート等、地域の交通需要についての調査を実施します。 (事業所管局：道路局)
緊急時情報システム運用試行事業	290	双方向機能を有する電話を利用した緊急時情報システムの運用及び検証を行います。 災害等に関する緊急情報を、電話を利用して、区から直接、防災・減災活動の核である、地域の防災組織の長(自治会町内会長)に対して発信し、あわせて、双方向機能を活用したシステムを試行実施し、実務上の課題と事業効果を検証します。 (事業所管局：総務局)
合 計	3,290	

## (2) 《参考2》 元気な地域づくり推進事業

市民局からの予算配付を得て、自治会町内会をはじめとする地域の様々な主体が連携して行う課題解決の取組を支援します。

(単位：千円)

細目事業名	予算額	概要
“輝け、地域力！”事業	1,836	自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携し、自らが地域の課題を解決するための取組に対し、補助金を交付します。また、地域組織づくりへの支援として、地域活動団体の取組等を掲載した広報誌を作成します。
地域・まちづくり活動支援事業	1,432	地域・まちづくりにつながる社会的公共性を持つ区民活動を支援し、「区民との協働による個性豊かな地域づくり」の推進を図るため、事業費を補助します。
保土ケ谷ほっとなまちづくり 地区別計画推進事業	1,072	保土ケ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）地区別計画は、地域の様々な人や活動団体と区役所等の関係機関が協働して取り組む計画です。地区別計画の推進や課題の解決を支援することにより、区民主体の地区運営を進めてまいります。
地域づくりプロジェクト 「ほどがや <sup>がっこう</sup> 楽考」	1,200	協働による地域づくりを目指し、次代の地域活動を担う区民と区職員が一緒に、身近な地域課題の解決方法などを学ぶ場として、「ほどがや <sup>がっこう</sup> 楽考」を開講します。
合 計	5,540	

## 民生委員・児童委員協力員制度の試行について

民生委員・児童委員（以下「民生委員」）の負担軽減や新たな担い手探しを目的に、30年7月1日から保土ヶ谷区民生委員・児童委員協力員制度の試行を開始し、現在11名の協力員が活動しています。

### 1 試行の実施状況について

(1) 活動実績（30年7月～11月の5か月間：協力員11名分の合計）

活動内容	安否確認等の見守り	福祉イベント等の周知・啓発	福祉イベント（サロン等）への協力	相談・支援	その他	計
件数（件）	681	69	56	19	63	888

※1人1か月当たり10件近くの、「安否確認等見守り」活動を担うなど、民生委員・児童委員活動を補佐しています。

また、「福祉イベント等の周知・啓発」により、閉じこもりがちな方を地域の活動に誘うこと等により、孤立を予防する効果も見られます。

(2) 民生委員及び協力員の声

ア 民生委員

（協力員…見守り、高齢者昼食会の運営、地区内民生委員への連絡を担当）

すごく楽になり、将来、自分が退任する際、協力員のサポートがあると言えば、

（後任を）引き受けてくれる人が見つけやすくなる。（⇒負担軽減、担い手探し）

イ 民生委員

（協力員…必要な世帯への訪問を担当）

当初、1期のみと思っていたが、この状況なら、もう1期できるかもという気持ちになってきている。

ウ 協力員

（訪問対象者を）自治会の行事等に誘い喜ばれた。（⇒やりがい）

エ 協力員

（訪問対象者を）高齢者対象の食事会に誘い喜ばれた。（⇒やりがい）

(3) その他

協力員を試行する中で、民生委員欠員地区の状況を個別に確認、協力員活用を働きかけた結果、民生委員の役割に関する地域の意識が高まり、民生委員の委嘱につながりました。（7月1日付6名、12月1日付9名委嘱済）

### 2 今後の取組

民生委員や協力員へ、アンケートなどを通じて意見等を丁寧に伺って効果・課題を検証し、区民生委員児童委員協議会と情報共有し、協力を得ながら事業を推進します。

## 保土ヶ谷ほとなまちづくり(地域福祉保健計画) 地区別計画の推進・支援の状況について

28年度からスタートした、第3期保土ヶ谷ほとなまちづくり(地域福祉保健計画)地区別計画の推進・支援の状況について報告します。

### 1 事例集の発行(資料別添)

今年度は5か年計画の中間年度にあたることから、各地区でこれまでの活動を振り返る機会とすると共に、今後の活動の参考として役立てていただくため、また、一般の区民の方に地域で行われている活動について知っていただく機会とするため、事例集を作成しました。

事例集では、地域の課題解決に向けて様々な団体が一緒に話し合い、実践している取組や、担い手づくりといった区全体の大きなテーマに新たな展開を見せた取組などを紹介しています。

事例集は区内施設での配架や班回覧を行ったほか、地区支援チームから各地区へ説明し、取組の検討の際に活用していただいています。

### 2 地区支援チームによる支援

区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの職員で編成する「地区支援チーム」が各地区を担当し、地区別計画の推進を継続的に支援しています。

#### (1) 地区支援チームによる支援内容

- ・各地区の定例会等での情報提供・意見交換、イベント等の企画への参画など、地区ごとの事業等の取組支援を行っています。

(例1) 保土ヶ谷地区: 31年1月に開始した「みんなでキッチン～ふれあいサロン」(地域食堂)立ち上げに向けて、チームから、他地区の食堂、衛生管理、助成金等の情報提供や、他の食堂見学の調整を行いました。

(例2) 川島原地区: 支えあいの仕組みづくりに向けたアンケート実施のため、チームでアンケート原案を作成し、バックアップしました。 等

※上記支援内容について、22地区に対し計273回実施

(30年12月末までの実績)

#### (2) 地区支援の充実に向けた研修等の実施

- ・地区支援チーム向け研修の実施(年2回)
- ・地区支援チームリーダー会議の開催(年3回)
- ・各地区支援状況や参考情報を掲載した「ほとなニュース」の発行(年4回)

### 3 アドバイザーの派遣

各地区で開催するほっとなまちづくりの地区懇談会等が、地域における課題などを話し合う場としてより効果的に機能するよう、希望のあった3地区に、まちづくりに造詣の深い学識経験者をアドバイザーとして派遣しました。

(例) 千丸台地区：自治会・地区社協・民児協が連携し、地域福祉の視点を持った防災の体制づくりができるよう、アドバイザーから助言しました。地区の現状を把握するためのアンケートの実施やマニュアル改訂をし、3団体が連携した訓練実施に向けた準備を進めています。

※千丸台地区4回、保土ヶ谷中地区4回、笹山地区3回 計11回派遣  
(31年1月末までの実績)

### 4 ほっとなまちづくりフォーラムの開催

各地区では様々な取組が進んでいますが、障害のある方に関する取組はまだ少ない状況です。そこで、ほっとなまちづくりフォーラム～第36回保土ヶ谷区社会福祉大会～(30年12月22日)において、「障害のある方と一緒に進める地域づくり」をテーマにシンポジウムを開催しました。また、会場内では福祉バザー及び福祉作品展を開催し、多くの来場者に障害のある方や高齢の方の作品に触れていただくことができました。(来場者数：約460名)

#### 【シンポジウム概要】

- ・ 静岡福祉大学の西尾 敦史先生の基調講演
- ・ グループホーム入居者とその支援を行っている職員の方々から、地域での暮らしの様子や地域に対する思いについて発表



基調講演



発表

### 5 ほっとなまちづくりの周知

ほっとなまちづくりの認知度向上のため、地域貢献型電柱広告を活用しています。(区内4か所)

また、広報区版2月号の表紙にて、ほっとなまちづくりの特集を組み、地区の活動について紹介しました。(資料別添)

### 6 31年度の取組

31～32年度は、第4期計画の策定期間となります。各地区では、第3期計画の推進を通じて積み重ねてきた議論をさらに深めながら、地区別計画の策定を進めていただくこととなります。策定にあたっては、引き続き地区支援チームによるサポートやアドバイザー派遣を行うほか、区民意識調査の実施、地区別データ集の作成など行ってまいります。

地域貢献型電柱 協賛企業

小学生・中学生・高校受験  
個別学習の  
セルモ  
境本教室  
境本中学正門前  
045-315-3380

スポンサー広告

公共情報

地域貢献型電柱 推進中  
「つながり・支えあい」  
から始まる  
保土ヶ谷  
ほっとな  
まちづくり  
保土ヶ谷区

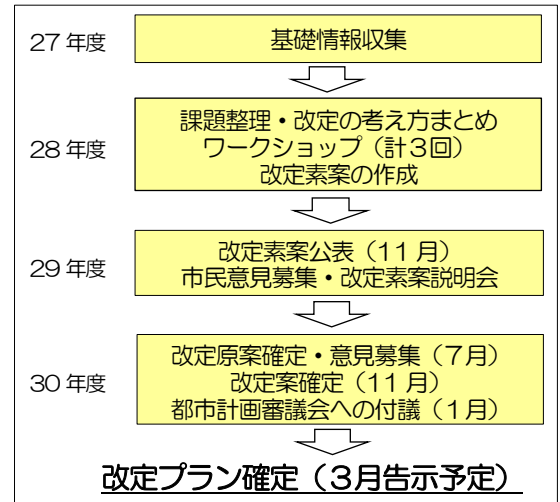
地域貢献型電柱広告

## 都市計画マスタープラン(保土ヶ谷区プラン)の改定について

### 1 取組状況

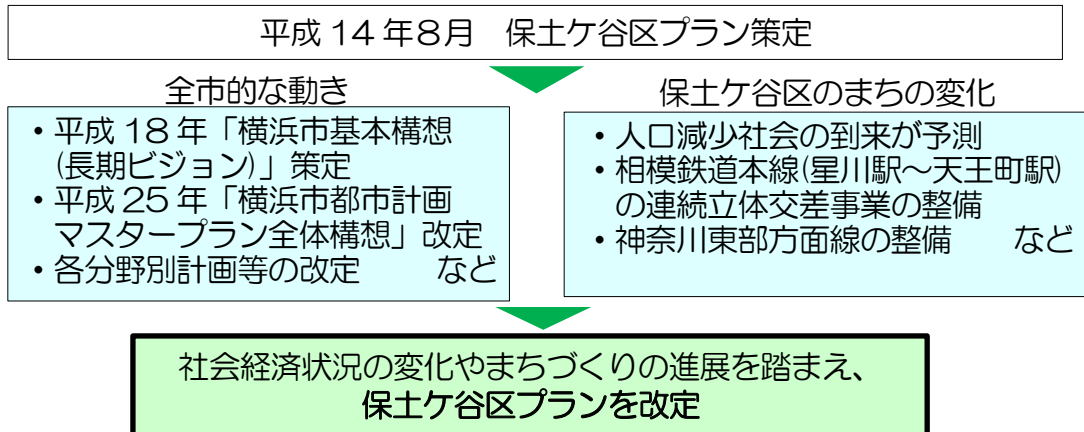
平成 14 年に策定した横浜市都市計画マスタープラン保土ヶ谷区プラン(保土ヶ谷区まちづくり計画)については、27 年度に改定作業に着手し、これまでワークショップや説明会、意見募集等でご意見を伺いながら進めてきました。

31 年 1 月 18 日の都市計画審議会において改定案の付議を行い承認されましたので、3 月の告示をもって改定プランを確定します。



改定までのスケジュール

### 2 改定の概要



#### ◆改定案の分野別方針と内容(抜粋)

- 土地利用の方針 … 連続立体交差事業の機会を捉えた土地利用の誘導(拡充)
- 都市交通の方針 { 東部方面線の整備に伴い、駅へのアクセス動線の検討  
丘陵部と駅を結ぶバス路線の維持など公共交通の利便性の維持
- 都市環境の方針 … 親しみやすい水辺空間やまとまりある緑の保全
- 都市の魅力の方針 … 旧東海道などの歴史資産の保全・活用
- 都市活力の方針 { 多様な世代が活動できるまちをつくる(新規)  
身近な区民活動の充実
- 都市防災の方針 … 「20万区民の自助・共助による減災運動」など地域の防災・防犯力の向上

※分野別方針のほか、6つの地域別の方針も示しています。

### 3 今後の予定

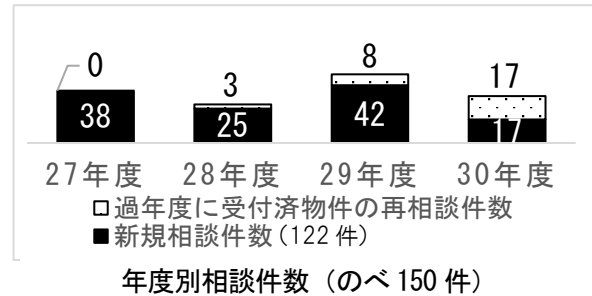
改定版の確定後、その内容を区ウェブサイトへ掲載するほか、概要版を区役所や保土ヶ谷図書館、区内各地区センター等へ配架する予定です。

## 空家相談と対応状況について

### 1 相談件数について

27年4月から30年12月末までの空家の新規相談件数は122件です。

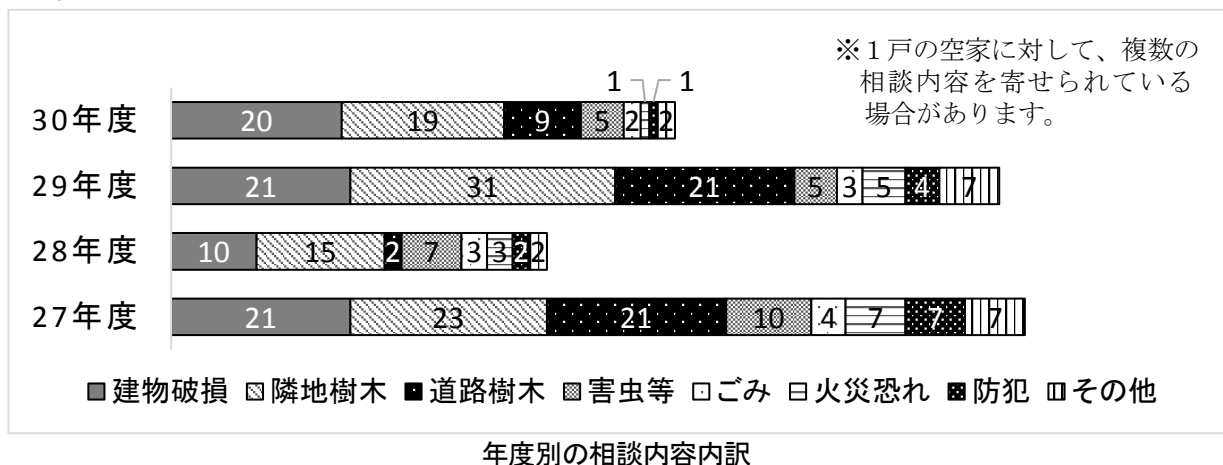
また、同一の空家への再相談を含めると、のべ150件の相談が寄せられています。



### 2 相談内容について

年度別の相談内容の内訳は以下のとおりです。

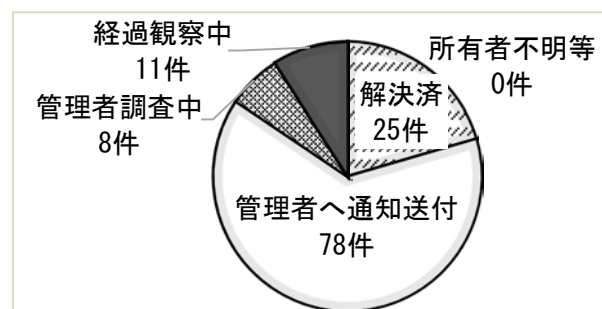
相談内容では、建物破損に関することや、樹木の繁茂に関する相談が多く寄せられています。



### 3 対応状況について

対応状況は、右図のとおりです。

解決済の25件の内訳は、所有者が樹木の剪定や草刈を実施（6件）、空家の解体（6件）、所有者または親族が放置物撤去等の対応（5件）、売却予定（3件）等です。



### 4 今後の対応

引き続き、区役所各課や消防署が窓口となって初期対応（現地調査→管理者調査→改善依頼の通知等）を進めるとともに、特に危険性が高く、緊急の対応が求められる場合には、建築局をはじめとした関係局と連携しながら適切な対応を図ります。



## ほどがや地区センター改修工事について

ほどがや地区センターでは、31年度に体育室の天井脱落対策工事及び空調設備新設工事、全館照明のLED化工事を実施します。これにより今年6月から12月まで(予定)の間、一部又は全面休館となります。

### 1 工事内容

- (1) 体育室 天井脱落対策工事、空調設備新設工事  
＜工事期間＞6月1日～12月28日(予定)
- (2) 全館 照明のLED化工事  
＜工事期間＞10月1日～11月30日(予定)

### 2 休館について

	6.1	10.1	11.30	12.28
体育室	← 利用不可 →			
その他会議室等	利用可	利用不可	利用可	

└──────────┘  
全面休館

※ なお、全面休館中(10.1～11.30)においても、利用受付・お問合せは時間を短縮して対応する予定です。(第3月曜日を除く)

※ 工事の進捗状況により、期間が変更となる場合があります。

### 3 市民への広報について

保土ヶ谷区ホームページに掲載するほか、広報よこはま保土ヶ谷区版での広報、区役所及びほどがや地区センターを始めとする区内各地区センターに告知ポスターを掲出します。

## 消防署の機構改革について

消防署の機構改革について、職責に応じた職位の配置による当直体制・災害現場指揮体制の強化や、責任職の増による消防署全体のマネジメント強化を図ります。

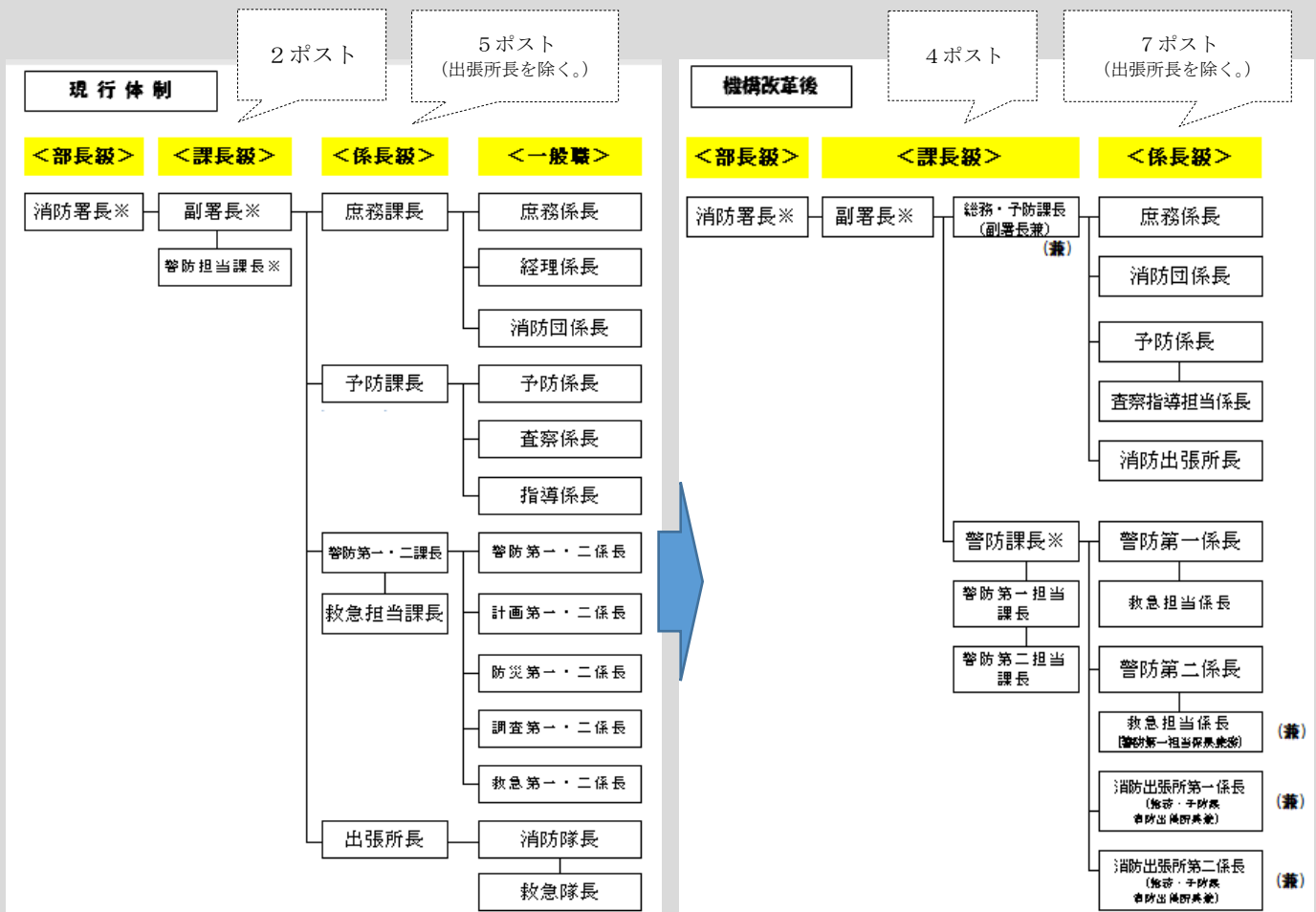
### 【消防署の機構改革】

※31年度は6署において実施（鶴見、神奈川、西、中、港北、戸塚）

消防署の警防体制やマネジメント体制を強化するため、これまで係長に相当する階級を配置していた予防課長、警防第一課長、警防第二課長等の職位・職責を見直し、課長に相当する階級を配置する「総務・予防課長」、「警防課長」、「警防第一担当課長」、「警防第二担当課長」に再編します。また、係長については、これまで一般職に相当する階級を配置していましたが、職位・職責を見直し、係長に相当する階級を配置する各係長に再編します。

※平成 31 年度は 6 署実施し、平成 33 年度までに全署実施予定。

⇒ 課長級：2増 係長級：2増



※ 署長は、区総務部担当部長（災害対策担当）兼務  
副署長及び警防担当課長は、  
区総務課担当課長(災害対策担当)兼務

※ 署長は、区総務部担当部長（災害対策担当）兼務  
副署長及び警防課長は、  
区総務課担当課長(災害対策担当)兼務